

製品名: BEGAIN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07532**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	BEGAIN
別名	BEGAIN; KIAA1446; Brain-enriched guanylate kinase-associated protein
遺伝子 ID	57596.0
SwissProt ID	Q9BUH8
免疫原	抗血清はヒト BEGAIN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 511-560

背景

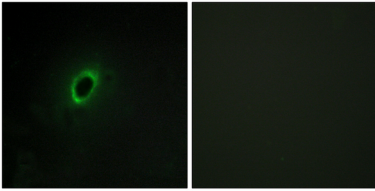
機能:シナプス後肥厚部 (PSD) の構造を維持する可能性があります。PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。サブユニット:DLG4 および DLGAP1 と相互作用し、三元複合体を形成します。機能:シナプス後肥厚部 (PSD) の構

造を維持する可能性があります。PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。サブユニット:DLG4 および DLGAP1 と相互作用し、三元複合体を形成します。

研究分野

-

画像データ



BEGIN 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。